

別紙：指定特定施設入居者生活介護について

事業所名：

介護保険事業所番号：

記入担当者氏名：

電話番号(職場)：

1 施設区分等：①有料老人ホーム ②軽費老人ホーム ③養護老人ホーム

2 入居者の条件：①介護専用型 ②介護専用型以外

3 サービスの提供形態：①一般型 ②外部サービス利用型
(上記はいずれかを○囲み)

4 利用定員： _____人

5 利用者数： _____人 (令和4年8月1日現在)

(うち要介護者： _____人、要支援者： _____人)

6 令和4年8月1日現在の職員数等

管理者氏名： _____ 常勤専従 常勤兼務 (どちらかに○をつけてください。)

	生活相談員		看護職員		介護職員		機能訓練指導員		計画作成担当者	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常 勤										
非 常 勤										
常勤換算後の人数										

・当該事業所で常勤の従業者が週に勤務すべき時間数： _____時間

※8月分の勤務割を添付してください。

既存のもので(実績でなく予定のもので)かまいませんが、職種、氏名、勤務時間がわかるものとしてください。なお、他の事業所の職員も含まれた勤務割の場合は、誰が特定施設入居者生活介護事業所の職員か区別がつくようにし、その人数は上記と同じ数字になるようにしてください。

【職員数記入にあたっての留意事項】

① 同一事業所内で職を兼務する場合又は他の事業所(居宅介護支援事業所等)と兼務している職員がいる場合、その職員については「兼務」の欄に記入することとし、記入する数値はその従事割合ではなく、実人数としてください。(0.8人や1.5人と記入するのではなく、1人、2人と記入してください。)

② 常勤換算とは、従業者の勤務延時間数を当該事業所において常勤の従業者が勤務すべき時間数で除することにより常勤の従業者の人数に換算するもので、生活相談員、看護職員及び介護職員について記入してください。

なお、これらの職員が居宅介護支援事業所等の他の事業所で業務に従事している場合、その時間は、当該特定施設入居者生活介護事業所での勤務延時間からは控除してください。

ただし、当該事業所の管理者又は計画作成担当者と兼務している常勤の生活相談員、看護職員又は介護職員については、「常勤換算後の人数」の欄では「1」とカウントしてかまいません。